

Costume and Textile

No.48

服飾文化学会会報

2024年9月

会長就任のご挨拶

玉田真紀

第12期に引き続き、第13期（令和6・7年度）の会長に就任致しました。

歴代7名の会長ならびに理事・監事の方々が育成された服飾文化研究・教育のプラットフォームをより進展するために、微力ではありますが、2期目も努力して参ります。

新事務局と新理事・監事体制のもと、会員の皆様にとって、研究成果の発表、情報収集、交流、後継者育成の有意義な場となるよう努めます。宜しく願い申し上げます。

令和6年度は、学会創設25年という節目に当たります。服飾を取り巻くあらゆる面が本学会の研究課題であり、歴史的認識を深める研究から、一方、未来の生活や社会に向けた提言やデザイン提案をすることも本学会の使命と言えます。会員には、大学や美術館・博物館に携わる研究者も多くいらっしゃいます。その研究環境は学会発足時から変化しています。服飾関連の歴史的な基礎研究や技術継承ができる場が激減しており、人材育成も課題となっております。そうした現実に直面する中で、本学会の役割は益々重要と認識しています。

今期は、前理事会から検討を進めて来ました若手研究者育成のための助成制度を創設しました。多くの方のご応募を期待しております。本会報8頁と詳細はホームページを参照して下さい。

また、学会運営・広報に重要なホームページの刷新についても検討していく所存です。25周年記念学会誌『服飾学研究』の発行も致します。服飾文化セミナー、研究例会の企画も本学会らしい充実した内容です。多くの会員の参加をお待ちしております。

こうした学会活動の企画・運営にご協力頂く全ての方々に、深く感謝申し上げます。



役員改選について

2023年12月より選挙管理委員会による役員改選の準備が始まり、2024年1月31日消印有効で受理した投票用紙を2月13日に開票。2024、2025年度の理事30名と監事2名が選出されました。また第1回理事会において玉田真紀先生が会長として選出され、役員を担当は以下のように決まりました。（選挙管理委員 田中淑江）

服飾文化学会 令和6・7年度 理事・監事

担当	氏名	所属
総務	会長	玉田真紀 尚綱学院大学
	副会長	大崎綾子 女子美術大学
		伊藤瑞香 和洋女子大学
財務	中西希和 跡見学園女子大学	
	角田千枝 相模女子大学	
事務局	安部智子 杉野服飾大学	
	鈴木桜子 杉野服飾大学	
	菅野ももこ 杉野服飾大学	
庶務	石上美紀 文化学園大学（非）	
	高橋佐智子 実践女子大学（非）	
	古川 咲 共立女子大学	
総会・大会 令和6年度	砂長谷由香 文化学園大学	
	梅田悠希 文化学園大学	
総会・大会 令和7年度	長崎 巖 共立女子大学	
	宮武恵子 共立女子大学	
	田中淑江 共立女子大学	
	古川 咲 共立女子大学	
服飾文化セミナー	菅野ももこ 杉野服飾大学	
	中川麻子 大妻女子大学	
	金井光代 文化学園服飾博物館	
論文発表会 令和6年度	砂長谷由香 文化学園大学	
	梅田悠希 文化学園大学	
論文発表会 令和7年度	内村理奈 日本女子大学	
	田邊しずか 鹿児島県立短期大学	
研究例会	内村理奈 日本女子大学	
	高須奈都子 立命館大学衣笠総合研究機構	
	砂崎素子 (学) 玉木学園玉木文化センター	
学会誌統括	深津裕子 多摩美術大学	
	須藤良子 大妻女子大学	
学会誌編集 (論文編)	田中淑江 共立女子大学	
	沢尾 絵 東京家政大学	
	畑久美子 愛国学園短期大学	
学会誌編集 (作品編)	大塚有里 東京家政大学	
	宮武恵子 共立女子大学	
	富田弘美 東京家政学院大学	
会報編集	川又勝子 東北生活文化大学	
	小出真理子 新潟青陵大学短期大学部	
	中川麻子 大妻女子大学	
HP運営	大崎綾子 女子美術大学	
	伊藤瑞香 和洋女子大学	
コンソーシアム	柳原美紗子 (財) 日本綿業振興会	
	佐久間恭子 元女子美術大学	

2024（令和6）年度 第25回服飾文化学会 大会報告

令和6年度 服飾文化学会 第25回総会・大会は5月18日・19日の2日間にわたり、東京都渋谷区にある文化学園大学にて5年ぶりに対面で実施しました。

天候に恵まれ正会員79名、非会員4名、学生会員4名、非学生会員2名の合計89名の皆様にご参加くださいました。

今年度は新たな試みとして、間口を広げ、服飾に興味のある高校生の参加を募る意図から、本学会理事所属大学の附属高等学校および理事推薦の高等学校に総会・大会をお知らせしました。残念ながら参加はありませんでしたが、今回の呼びかけをきっかけに近い将来参加してくれることを期待したいと思います。

以下は大会の報告です。

1. 論文発表、作品・ポスター展示発表

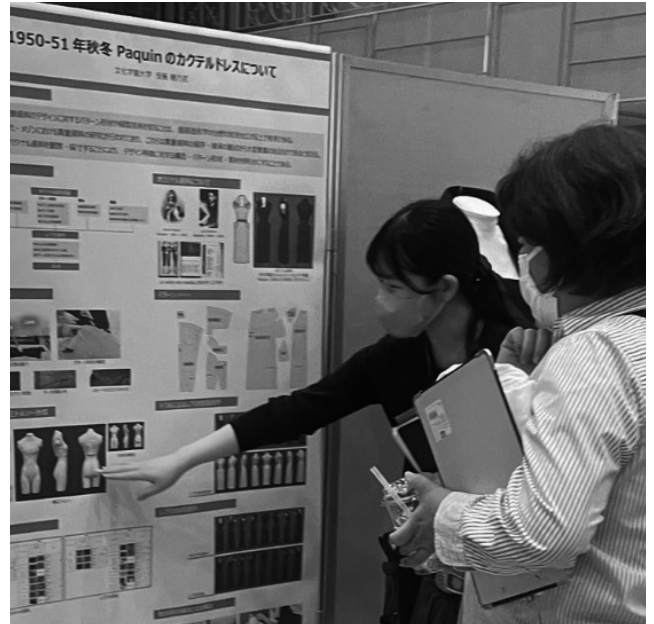
研究発表件数は、論文発表7件、作品展示発表7件、ポスター掲示発表2件合わせて16件でした。

18日、玉田真紀会長の開会のご挨拶に続き口頭発表が行われ、それぞれの発表に活発な質疑応答がありました。



論文発表の様子

19日、作品・ポスター展示発表では、制作者の意図を理解するためのパワーポイントを用いたショートスピーチを各6分行いました。その後、日本女子大学の内村理奈先生による閉会の辞を挟み、展示作品・ポスターの前で各展示者からの説明及び熱心な質疑応答が行われました。



作品・ポスター展示発表 質疑の様子

2. 特別講演

文化学園大学教授 小松浩一氏による「転換期によるファッションビジネスと店舗戦略～アナログ・デジタル・サステイナブルの未来～」の講演が行われました。

小松氏は、伊勢丹をはじめ多くの商業施設の開発・リニューアルや顧客マーケティング、また企業コンサルティングに長年携わってこられました。また『最強マーケティング図鑑』『アフターコロナの「最強の販売脳」の作り方』『ディズニーランドの心に響く接客サービス』『人を動かすファシリテーション思考』『介護事業の経営・運営ノウハウ』『福祉ビジネス 見えてきた巨大マーケット』など流通・サービス、マーケティング関係、接客・サービス・人材育成関係、ビジネスノウハウ関係、高齢者福祉・介護ビジネス関係など多くの著書を執筆されています。

講演では、長年の経験を基にファッションビジネスの歴史的経緯、取り巻く様々な現状、そして今後について、また百貨店の裏側など普段聞くことのできない貴重な大変興味深いお話を伺うことができました。

3. 博物館見学

文化学園服飾博物館「“オモシロイフク”大図鑑」展を18日自由見学していただきました。



特別講演での小松浩一先生



情報交換会
自然食由来の軽食

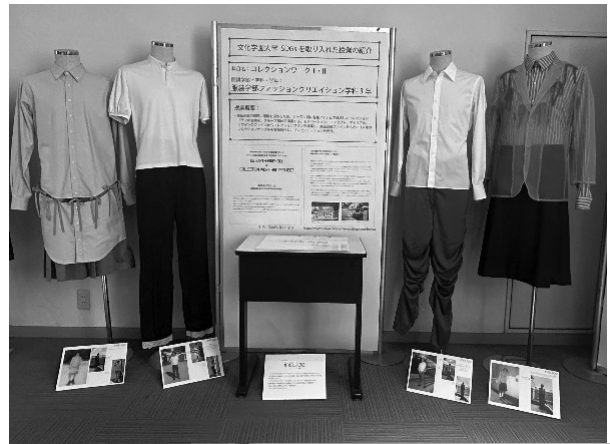
4. 情報交換会

初日18日の夕刻に、場所を大学C館12階学生ホールに移し、5年ぶりに対面での情報交換会が行われました。参加者は56名でした。

玉田真紀会長のご挨拶に続き、共立女子大学の田中淑江先生ご発声による乾杯で始まり、参加者の皆様には終始和やかな雰囲気でご歓談いただきました。歓談の途中には新副会長 女子美術大学の大崎綾子先生にもご挨拶をいただきました。

会には特別講演の小松先生もご参加くださいました。

今回の情報交換会のテーマは“サステナブル”、自然食由来の軽食と飲み物を用意し、会場校のサステナブルファッションの授業作品も展示されました。



サステナブル
ファッションの授業作品



情報交換会の様子

5. その他

19日の午後、展示会場での質疑応答終了後、末正真礼氏による展示作品の写真撮影が行われました。

開催校には多くの本学会正会員が所属しており、立候補の実行委員22名、そして学会員の皆様にご協力をいただき、第25回 総会・大会を無事に終了することができました。皆様に深く感謝申し上げます。

(大会実行委員長 水谷みつ江)

●第25回総会・大会プログラム

文化学園服飾博物館

5月18日(土)

- ・開会の辞 13:00~13:05
服飾文化学会 会長 玉田真紀(尚絅学院大学)
- ・論文発表 13:05~14:50
- ❖座長 石上美紀(文化学園大学(非常勤))
A-1 ロートレック作品にみる働く女性の服飾
—社会階層からの逸脱—
日本女子大学大学院 小寺和果
- ❖座長 大川知子(実践女子大学)
A-2 「翁」を中心とした衣装の比較調査
—愛知県北設楽郡設楽町の田楽—
文化学園大学 角谷彩子
- ❖座長 川又勝子(東北生活文化大学)
A-3 明治時代における女性の自立と裁縫教育
東京家政大学 杉野公子
- ❖座長 富田弘美(東京家政学院大学)
A-4 同窓会ネットワークによる洋服に関する知識
と製作技能の普及
—共立女子学園における戦前の取り組みを事例
に—
お茶の水女子大学 平田麻里子
- ❖座長 鈴木桜子(杉野服飾大学)
A-5 女子雑誌にみるモダンガールの装い
文化学園大学 下山かおり
- ❖座長 中西希和(跡見学園女子大学)
A-6 アジアの伝統的な服飾文化に関する学術研究
の動向
多摩美術大学 深津裕子
- ❖座長 新實五穂(お茶の水女子大学)
A-7 17世紀末フランスにおけるアマデイス・ス
リーブの流行と具体像
鹿児島県立短期大学 田邊しずか
- ・特別講演 15:00~16:25
内容:「転換期におけるファッションビジネスと店
舗戦略 ~アナログ・デジタル・サステイナ
ブルの未来~」
講師:小松浩一氏(文化学園大学 教授)
- ・総会 16:30~17:00
- ・情報交換会 17:10~18:30
- ・自由見学 10:00~16:30
「“オモシロイフク”大図鑑」展

5月19日(日)

- ・作品展示 ショートスピーチ 9:35~10:27
- ❖司会進行 砂長谷由香(文化学園大学)
B-1 ワンタッチファンを取り入れた衣装提案
—ロングドレス制作—
文化学園大学 清水美里
- B-2 オブ・アートの手法を用いたニット作品制作
—主観的鱗文様—
和洋女子大学 海老名理紗子
- B-3 ARを活用した子ども向けファッションブッ
クの提案
○和洋女子大学 木村知世
倉敷学術科学大学 中川浩一
- B-4 猫足の形状を表現した舞台衣装のパンツパ
ターン設計
○文化学園大学 房 暁航
文化学園大学 砂長谷由香
- B-5 繊維廃棄物を用いた衣服制作
—こいのぼり—
岐阜市立女子短期大学 柴田佐和子
- B-6 1950-51年秋冬Paquinのカクテルドレスにつ
いて
文化学園大学 安藤穂乃花
- B-7 地域資源を活かした衣服制作
—近江上布のハギレを活用して—
滋賀県立大学大学院 野々村多慧子
- ・ポスター展示 ショートスピーチ 10:27~10:39
- ❖司会進行 砂長谷由香(文化学園大学)
C-1 「カワイイファッション」が日本のポップカ
ルチャーとして形成されていく様子と社会へ
与えた影響
大妻女子大学大学院 佐久間桃花
- C-2 浮世絵に描かれた前垂の多様性
文化学園大学(非常勤) 福田博美
- ・閉会の辞 10:40~10:45
内村理奈(日本女子大学)
- ・作品展示・ポスター展示 説明・質疑応答
10:50~12:30

2024 (令和6) 年度 服飾文化セミナーの報告

はじめに

今年度の服飾文化セミナーは、1泊2日で京都市内を巡りました。両日あわせて46名の方々にご参加いただきました。内訳は、正会員34名、非会員8名、学生非会員4名です。1日目は、西陣にあります「手織ミュージアム 織成館」、「長艸繻巧房」、「レースミュージアムLOOP」といった、染織技術の粋を極めた工房、ならびにミュージアムにて、伝統と革新に触れました。2日目は、京都国立近代美術館にて開催中の「LOVEファッションー私を着がえる時」展を見学しました。

概要

■ 京都市内の伝統染織の工房見学と展覧会鑑賞

<日時>

2024年(令和6年)9月13日(金)～14日(土)

<会場>

手織ミュージアム 織成館

〒602-8482

京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町693

長艸繻巧房

〒603-8321 京都市北区平野鳥居前町5

レースミュージアムLOOP

〒602-8443 京都市上京区元誓願寺通大宮西入

国立京都近代美術館

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町26-1

<プログラム>

1日目9月13日(金)

13:00 手織ミュージアム 織成館前 集合 見学

14:30 長艸繻巧房見学

15:30 移動 徒歩

16:00 レースミュージアムLOOP 見学

17:00 ホテルへ移動 徒歩

京都新阪急ホテル | 京都駅

18:00 情報交換会

開会の辞、乾杯のご挨拶

会長：玉田真紀先生(尚絅学院大学)

閉会の辞 副会長：大崎綾子先生

(女子美術大学)

2日目9月14日(土)

09:50 国立京都近代美術館前 集合

10:00 美術館内セミナー会場にて「LOVEファッションー私を着がえる時」展の概要説明

解説：筒井直子氏

(京都服飾文化研究財団 学芸員)

10:30 自由見学

見学終了後解散

■ 申し込み期間と方法

<期間> 5月20日(月)～7月10日(水)

<方法> QRコードおよびURLを記載し、申し込みフォームよりお申し込みいただきました。

■ 参加費

会 員 1,000円

非 会 員 1,500円

学生会員・学生非会員 500円

なお今回は、少しでも多くの方にご参加いただけるよう、参加形式を複数用意いたしました。詳細は、ホームページの2024年度服飾文化セミナーのページに掲載しております、PDFのリンクからご覧いただけます。

各見学先での様子

■ 手織ミュージアム 織成館

手織ミュージアム 織成館は、織屋建ての風情ある建物に、日本各地の手織物や時代衣装、絢爛豪華な復元能装束が展示されたミュージアムです。

こちらでは、全体で館内についてご説明いただいた後、2グループに分かれて、今現在も稼働している織物の工房と江戸から明治、大正にかけて製作された衣装の数々を見学しました。工房での見学中は、実際に職人の方による実演を間近で拝見し、参加された方からは、多くの質問が飛び交うなど、大変有意義な時間となりました。



「手織ミュージアム 織成館」見学の様子

■ 長艸繡巧房

長艸繡巧房は、1933年に設立された京繡の工房です。今日に至るまで、京繡を施した着物、帯、小物、室内装飾品、舞台衣装などの制作と販売、祇園祭などの祭り装飾品の修復・新調が行われています。

こちらでも2グループに分かれて、現当主の長艸敏明氏に京繡の歴史についてご講義いただき、また一方で同工房が所蔵する桃山時代他の貴重な刺繡裂を鑑賞しました。長い歴史の中で受け継がれてきた技術を踏襲しつつ、現代の需要に応えるような「京都の伝統染織の今」について、時に笑いを交えながらご講義いただきました。



「長艸繡巧房」見学の様子

■ レースミュージアムLOOP

2022年8月にオープンした本美術館は、西陣で創業57年を迎える「リリーレース・インターナショナル」が企画するレース専門の美術館です。2階はヨーロッパのレースの歴史や貴重なアンティークレースの展示、3階は同社が製造したレース生地が展示され、館内では、レース生地の販売も行われています。展示されているアンティークレースは、色、形状ともに良好なコンディションの作品が多く、その繊細な美しさに参加された皆様も熱心に鑑賞されていました。

■ 「LOVEファッションー私を着がえる時」展

国立京都近代美術館と国内外の服飾資料を数多く所



「レースミュージアムLOOP」見学後の集合写真



「LOVEファッションー私を着がえる時」展
見学前の集合写真

蔵する京都服飾文化研究財団との共催展である本展は、「自然にかえりたい」、「きれいになりたい」、「ありのままにいたい」、「自由になりたい」、「我を忘れたい」の5つのテーマで構成されています。当日は、美術館内セミナー会場にて、筒井直子氏より、見学前に展覧会解説を実施していただきました。

おわりに

服飾文化学会では、宿泊を伴うセミナーは4年振りの開催であり、夏の京都で、有意義なセミナーを開催することができました。情報交換会では、寛いだ雰囲気の中、全国各地から参加された皆様が交流を深める機会となりました。多くの方にご参加いただき、心より御礼申し上げます。



情報交換会の様子

(服飾文化セミナー担当 菅野ももこ)

特集記事 書籍『19世紀ファッションのディテール』紹介

石上美紀 (文化学園大学 非)

このたびヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (V&A) より2016年に出版された*19th-Century Fashion in detail*の日本語訳監修を手掛けさせていただく機会を得た。19世紀服飾の解説書があまりあるなか、今更19世紀と思われる向きもあるかもしれない。特に日本では第二次大戦以降、和服を日常の服として選択するよりも「洋服」の模倣を追求しつつ自国ファッションを独自に確立してきたという経緯があるゆえか、古くから西洋服飾研究は盛んに行われ、関連図書も豊富に存在する。

しかし本書は、世界でも有数の上質かつ膨大な所蔵品を誇る国立の総合博物館でありながら、早くからデザインやファッションに特化する部門を有して常設展示を行っている稀有なV&Aの学芸員出身者3人が結集して作成し、さらにディテールに焦点を絞っていることが、他書とは一線を画している点といえるだろう。

in detail、つまり詳細を明らかにするにはその「物」を熟覧する必要があり、それはいわば学芸員にのみ許される特権でもある。その特権を駆使し、衣服を表裏両面からつぶさに観察し考察した成果が詳しく記される。そして、その細部が明らかになってこそその、全体のシルエットなのだと言えらるるのである。

とはいえ細部だけに囚われた難解な本ではもちろん無い。冒頭には通史が紹介され、歴史の流れも把握できる。そして何よりも鮮明で美しい写真やイラストが各服に1~2つ配されるため、眺めるだけでもその世界観にうっとりさせられ、特段の知識が無くても楽しめる魅惑的な本に仕上げられている。V&Aに行ったことのある方には、常設展で展示されている服に見覚えがあると懐かしく思い出されることもあるかもしれない。普段はなかなか立ち入ることのできない服の内部にこっそりと足を踏み入れられるというVIP的な感覚をも同時に味わうこともできるだろう。

章立ては次の9つに分類される。「衣服造形のテクニック」「テイラリング—紳士服の仕立て術—」「トリミング—多彩な装飾品—」「プリント生地、織物」「刺繍」「ボタン、留め具」「イノベーション」「衿、袖、ポケット」「その他の装身具」。

こうした多方面の観点からの調査に支えられた内容には、新しい知見がみいだせるのは言うまでもない。例え

ば日本人にはあまり有名ではないオートクチュリエの名前を見出すこともあるし、19世紀後期のジャポニズムが西洋のドレスに及ぼした影響が指摘される箇所では、当時の西欧ファッションにおける明確なジャポニズム熱を再確認できて日本人にとっては興味深い。

また現代の紳士服にはそう簡単には見いだせない、19世紀の複雑な仕立ての裏側も見せてくれる。紳士服仕立ての本場として今でも有名な「サヴィル・ロウ」を擁するイギリスの面目躍如といったところであろう。周知のようにロンドンのテイラーの縫製技術は世界一として知られ、日本にはかなり馴染みの薄い技術が紹介されている。そのためにそれを表現する日本語が存在せず翻訳に苦慮した部分もある。それほど細やかな配慮が裏に隠されていることを表側には微塵も感じさせない、傑出した仕立ての技術を目撃することもできるだろう。

服飾研究にとって、特に洋服ではその歴史の中心にあるシルエットの概観、あるいは服飾が内包する時代的、社会的意味を探るのも大きな愉しみである。だが細部の探求には、もっと原始的で単純な人間の「装い」への飽くなき探求心、人類が太古の昔よりいまだき続けてきた本能的な「装飾願望」、さらに執拗と思われるくらいに歴史的に繰り返される、人々の心を高揚させる狂気とも思えるほどの「美しい物」への執念、に想いを馳せてしまう・・・とまでいってしまうと大げさだろうか？そんな秘密の花園にこっそりと侵入する快感も味わっていただきたい一冊である。

最後に、監修を手掛ける上で最も苦心したのは、19世紀的な用法と現代的なその両方が混在している原文英語の意味の違い、そして明治以来積極的にカタカナ語を導入してきた日本のファッション用語と英語との「ずれ」を見極めることであり、日本語に置き換える際にはかなり丁寧な説明を要する点であった。その詳細は本書を見ていただくよりほかはないことも申し添えたい。



会計報告

*****事務局より*****

①服飾文化学会 2023(令和5)年度 収支決算書 (2023年4月1日～2024年3月31日)

Table with columns: 項目, 予算, 決算, 予算との比較(△減), 備考. Rows include 収入 (1)年会費, (2)入会費, (3)年間購読料, (4)学会誌掲載料, (5)その他, (6)繰越金, 収入計, 支出 (1)総会・大会運営費, (2)学会誌発行費, (3)事務管理経費, (4)通信費, (5)会報発行費, (6)事務用品費, (7)会議費, (8)交通費, (9)雑費, (2)事業費, (1)事業費A, (2)事業費B, (3)事業費C, (4)事業費D, (3)広報費, (4)交流費, (5)事務外部委託費, 服飾文化基金積立, 支出計, 収支差額, 次年度繰越金.

②服飾文化学会 2023(令和5)年度 財政調整積立金収支報告書

Table with columns: 項目, 収入, 支出, 残高, 備考. Rows include 前年度繰越金, 総会・大会余剰金, 服飾文化セミナー余剰金, 服飾文化基金, 2009(H21)年度, 2010(H22)年度, 2023(R5)年度.

③服飾文化学会 2024(令和6)年度 予算案(2024年4月1日～2025年3月31日)

Table with columns: 項目, 予算額, 前年度, 前年度との比較(△減), 備考. Rows include 収入 (1)年会費, (2)入会費, (3)年間購読料, (4)学会誌掲載料, (5)その他, (6)繰越金, 財政調整積立金の取崩し, 収入計, 支出 (1)総会・大会運営費, (2)学会誌発行費, (3)事務管理経費, (4)通信費, (5)会報発行費, (6)事務用品費, (7)会議費, (8)交通費, (9)雑費, (2)事業費, (1)事業費A, (2)事業費B, (3)事業費C, (4)事業費D, (5)事業費E, (6)事業費F, (3)広報費, (4)交流費, (5)事務外部委託費, 服飾文化基金積立, 支出計, 収支差額.

④財政調整積立金及び服飾文化基金の増減

Table with columns: 項目, 2023年度末残高, 当期増加額, 当期減少額, 当期残高. Rows include 財政調整積立金, 服飾文化基金.

* 2015(H27)年度より特別会計の名称を財政調整積立金と変更

●会員異動(敬称略、申込順)

【新入会員】正会員 房暁航(文化学園大学) 安藤穂乃花(大妻女子大学) 木村友美(文化学園大学) 廣明有沙(東京家政大学) 荒井萌果(和洋女子大学) 遠藤美加子(和洋女子大学) 学生会員 小寺和果(日本女子大学大学院) 吉村ひかる(日本女子大学大学院) 賛助会員 (株)ミマキエンジニアリング

【退会】池田節子 梶間充子 内藤千文 福山和子 倉みゆき 亀井宏美 下村道子 富川淳子 永富彰子

●年会費値上げについて

今年度の総会において学会運営の効率化と昨今の諸費用の値上げを鑑み、令和7年度より正会員および海外会員の年会費が7000円に値上げすることが承認されました。クレジットカード決済も可能になりSMOOSY上で支払方法を選択することができます。ご不明な点がありましたら学会事務局までお問い合わせください。

◇◇◇◇ 服飾文化研究助成のお知らせ ◇◇◇◇

若手研究者への研究助成事業を本年度より開始します。応募資格は35歳以下、服飾文化研究の基礎及び応用研究に寄与する研究で、期間は原則1年以内、1件の申請額は5万円以内、グループ申請も可。研究期間中又は終了後に服飾文化学会大会で成果を発表することが必要。締切は10月31日、結果は翌年3月31日に本人宛に通知。詳細はHP掲載の応募要領と服飾文化学会助成規定を参照。応募申請書はHPよりダウンロード。提出先は服飾文化学会事務局まで。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 近著紹介 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

タイトル:『はじめての和裁の教科書』動画と図解でよくわかる! 浴衣の仕立て方

著者:田中淑江

発行所:講談社

発行日:2024年6月27日

定価:2,500円(税別)

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 研究例会 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

2024年度研究例会は、「女子美染織コレクションpart12 ヨーロッパの染織 Weaving Aesthetics 文様が織りなす美」展との共催企画として実施します。開催日時:12月14日(土)14:00~15:30 会場:女子美アートミュージアム 講演形式:ハイブリッド形式(対面およびZOOM) 講師:内村理奈(日本女子大学教授) 演題:「西洋絵画にみる服飾とテキスタイル」

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 展覧会のお知らせ ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

「生誕130年 芹沢銈介の世界」 会期:2024年9月5日(木)~11月20日(水) 会場:日本民藝館(https://mingeikan.or.jp/) 開館時間:10:00~17:00 休館日:月曜日(月曜日が祝日の場合は月曜日開館し翌平日休館)

会報 No.48:2024(令和6)年9月30日発行

編集発行人:服飾文化学会

事務局:141-8652 東京都品川区上大崎4-6-19

杉野服飾大学 服飾文化学科 西洋服飾史研究室内

TEL:03-6910-4422

E-mail:fukubunjim@gmail.com

URL:http://fukushoku-bunka-gakkai.jp/